

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例 小学部4、5、6年／教科別の指導：国語

『友だち同士で学び合い、場所を具体的に表すことばを話したり、聞き取ったりすることで、ことばの幅を広げよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・小学部5年女子(4年生3名、5年生2名、6年生1名の計6名の学習グループ)
- ・人、物、場所、動作の4つの視点が組み合わさった指示を聞き取るときに、4つの視点を聞き落とすことがある
- ・3つの異なる高さの山のイラストを提示して2番目に高い山をことばで表現するときに、「少し小さな山」と答えるが、その後、友だちの「わかりません。何番目に高い？」の質問に対して「2番目に高い」と言う
- ・3つの形の違う山のイラストを見て「てっぺんがとがった山はどれ？」「てっぺんが平らな山はどれ？」「てっぺんが丸い山はどれ？」の教師の質問に対して「わからない」と言う

そこで本題材では、以下の望む姿を設定した

→3つの形の異なった山の形(場所)を具体的に表すことばの意味を、友だちと学び合う中で理解してことばの幅を広げて欲しい

2. 教材の概要 教材：『宝探しゲーム』

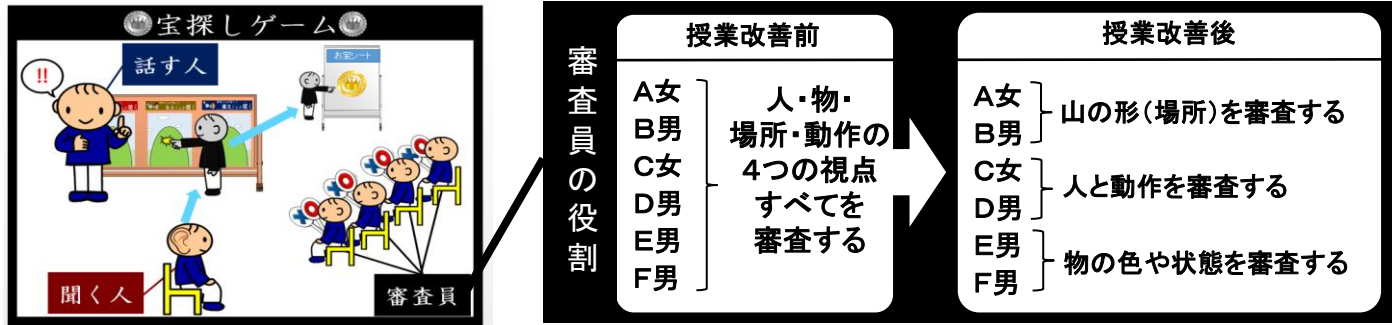
- ・場所(山の形)を具体的に表すことばを聞き取ったり、話したりする必要性が持てるように、場所を具体的に表すことばを聞き取ることで、宝を獲得できる仕組みにした
- ・場所(山の形)を具体的に表すことばの意味を友だち同士で学び合ったり、その試行数を増やすことができるように、宝について『話す人』役が話したことばを聞き取る『聞く人』役が宝を探すことに加え、それらの活動の正誤について審査する『審査員』役を設定した

3. 授業のポイント

ポイント1

- ・友だち同士で学び合いながら、山の形(場所)を具体的に表すことばを聞き取る必要性を持つための教材の仕組みの工夫
- 【山の形(場所)を具体的に表すことばを聞き取り、ことばの理解が深めるためには、どうすればいいかな？】

- ・山の形(場所)を具体的に表すことばを聞き取るための試行数を確保したり、4つの視点の中から聞く視点について焦点化して聞いたりすることができるように、『聞く人』、『話す人』の役割に加えて、『審査員』の役割を設定し、審査した理由について説明する活動を設定した
- ・『話す人』の話した内容を、友だち同士でフィードバックすることや、記憶を補助する手段として、タブレット端末のボイスレコーダーのアプリを使用した

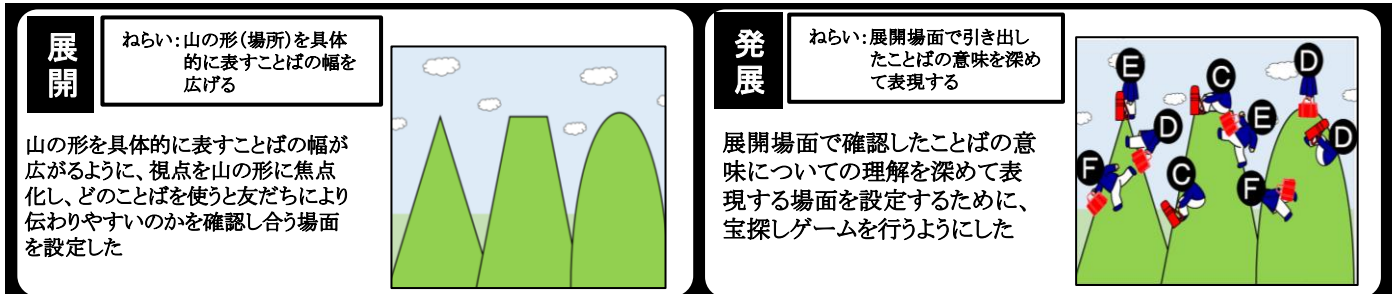


授業構想チェックシート 内容チェック 1. 教材について①②③

ポイント2

- ・友だち同士で学び合いながら、山の形(場所)を具体的に表すことばを聞き取り、ことばの幅を広げるための、学習活動の工夫
- 【友だちで同士で学び合いながら、山の形(場所)を具体的に表すことばの幅を広げるためには、どうすればいいかな？】

- ・展開の場面で、山の形(場所)を具体的に表す自分と友だちのことばの違いを知り、より伝わりやすいことばを確認する場面を設定した



授業構想チェックシート 内容チェック 6. 学習活動について②③